

3月16日 オープンクラス

学習者にとって、今年度最後の学習日の今日はオープンクラスの日。先週ほどの班も学習者が少なく、今日はどうなることかと心配していたが、7時前から三々五々、1階ホールに集まって来て、学習者 ボランティア合わせて、約50人。今回は、運動会でよくする、スプーン運び、借り物競争、それにフルーツバスケットの3種目。学習者、ボランティア混成の五つのチームを作り、得点を競う対抗戦方式。最初は、静かだったが、ゲームが進むに連れ次第に熱が入り、喚声、笑声、黄色い声（これはなかった）が湧き上がる。最後のフルーツバスケツで、最高潮に達した。そして、得点発表のあと、高得点チームから順番に賞品を受け取り、学習者全



員に行き渡ったところで無事終了となりました（賞品のご協力ありがとうございました）。終わりに、本日で市岡を終了するタイの学習者に理事長より終了証が渡され、みんなの拍手を浴びました。

(4班 前田仁志さん)

3月活動報告

2班 田淵守雄

3月16日（金）は、ボランティアと学習者の班を越えての交流のオープンクラスを実施した。内容は、数週間前より、学習終了後、各班のイベント係が集まり、熱い討論の末、スプーンでの玉運び競争、借り物ゲーム、フルーツバスケツゲームを行うことになった。多数の参加者を4組に分けて、優勝を争う。小学生の学習者らに負けてもなるものかと区民センター1階の広いホールを走り回り、勝てばチーム全員で肩を抱き合って喜び、負けては悔しがった。

優勝チームの学習者から順にボランティア提供の数々の景品をもらい、思わず微笑んでいた。中には、ゲームが始まる前からほしい景品に目をつけ、一番にもらいに行った小学生もいた。終了後、2班のアピナン君（タイ）が1年間の修了証を受け取り、弁天町駅近くの会場で、20名（うち6名が学習者）の参加のもと、賑やかで楽しい送別会を行うことができた。アピナン君の謝辞で、「辛いこともあったが…」に胸をつまらせた。1年後、研修生として再来日するとのことで、タイのセブンイレブンの発展のため、また本人の更なる飛躍を期待しています。

このイベントが終ると、2週間学習は休みだが、新しいボランティアの説明会や研修会が多数の出席のもと実施され、講師の先生の助詞などの講義に熱心に耳を傾けていた。

4月から新年度が始まり、昨年度より、より実り豊かな成果があがるように、みなさん頑張りましょう。